

# 平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

野庭地域ケアプラザ

## 2 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、具体的に記載してください。

### 地域の現状と課題について

#### <地域の現状>

担当エリア地域では、

- ・高齢化率が30%以上に達しています。
- ・単身、高齢者世帯の方が増加しています。
- ・認知症一人暮らし世帯の方が増加しています。
- ・認知症の方其々に個別性を求められる支援が多くなり、社会状況の変化に伴い、複数、問題を抱えたケースの対応に、専門職として関わり、社会的資源を有している地域住民や支援者、各関係機関との連携の下、問題解決を図るネットワークづくりに、「野庭地域において身近な福祉保健の拠点」としての役割を果たしています。

#### <地域の課題>

- ・高齢者夫婦、認知症世帯、独居等の増加で、介護保険事業者・近隣等からの安否確認の問い合わせが増えていること。
- ・困難を抱えた対象者や家族等が引き起こす地域・近隣とのトラブルが年毎に増加していること。
- ・深い問題、課題のある個別相談が増えており、各関係機関・関連団体との緊密な連携が必要。
- ・地域活動を担う役員、住民、ボランティア等の高齢化で、支援者の減少や後継者が不足していること。

## 施設の適正な管理について

### ア 施設の維持管理について

- ・利用者、来館者が安全、安心、快適にご利用頂ける様、建物、施設内の設備機器、備品類等の管理、メンテナンスに努めました。
- ・貸し部屋、廊下等の日常清掃や手すり、貸し館備品等の消毒を行い、快適にご利用できるように清潔感ある館内であるように努めました。
- ・長年の使用による劣化や、不備等が発生した場合は、行政と連携して支障がないように迅速に対応しました。（※多目的ホールの椅子を新規購入し交換）
- ・野庭地区センターとの複合施設として施設管理に係る情報共有に努め、適正な施設の維持管理に努めました。

#### イ 効率的な運営への取組について

- ・法人及びケアプラザの運営目標を達成する為に、事業計画、予算を計画的に遂行しました。
- ・職員一人ひとりが、予算内での適正運営を行っていくことの共通認識を持ち、光熱水費等の経費削減に努めました。
- ・事業を円滑に運営していく為、職員間のコミュニケーション、ケアプラザ内の各種情報を共有できる環境づくりに努めました。

#### ウ 苦情受付体制について

- ・寄せられた要望・苦情に関しては、法人共通の「苦情解決取り扱い要綱」に則り、迅速かつ適切に対応しました。
- ・デイルーム、受付窓口に、「苦情解決の仕組み」を掲示しています。「苦情受付担当者」「苦情受付責任者」「苦情解決責任者」「苦情解決の手順」等を明記して、苦情・要望の対応方法等をわかりやすく説明しています。
- ・ご意見箱の設置やご意見ダイヤルの案内を掲示、来館者、利用者の要望・苦情を寄せやすくしています。
- ・ホームページや広報紙に、ケアプラザに対するご意見、ご要望用のメールアドレスを掲載して、幅広く地域からの声が拾える体制を整えています。
- ・接遇に関する職員研修を実施して、利用者一人ひとりに満足して利用して頂ける施設を目指しました。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・災害発生時には、緊急連絡網、職員召集体制、役割、備品の備蓄等の対応を明記した災害応急マニュアルに則り運営しています。
- ・特別避難場所としての災害応急備蓄を計画的に整備し、食料、避難物資等の不足がないようにしています。
- ・事故や感染症発生時に、迅速かつ適切に対応できるようにリスクマネジメント研修を実施しました。
- ・施設内及び外部での緊急事態に備えて AED を設置しています。
- ・警備会社と業務契約を結び、機械警備を実施しています。異常発生時は、24 時間、警備員が施設に急行する体制を整えています。
- ・野庭地区センターとの合同防災訓練を 2 回実施しました。

#### オ 事故防止への取組について

- ・事故発生時は、ヒヤリハット・事故規定に則り、カンファレンスを開催して対応策等の情報を共有し再発防止策を実施して、利用者、来館者等の安全とサービスの向上に努めました。
- ・ヒヤリハット事例は、部署内だけではなくリスクマネジメント委員会でも分析、対応策等の検討を行い事故の未然防止に努めました。
- ・法人各施設の職員で構成されたリスクマネージャーを中心に事故事例や、事故防止の取組みを検討、事故対応、防止策の統一事項を、職員に提言、周知しました。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・「個人情報保護管理規程」に則り、保有する個人情報を適切に取り扱い、個人の権利及び利益を保護する事を目的とする運用に努めました。
- ・ 個人情報が記載されているものへの取扱いを慎重に行い、漏洩防止に努めました。
  - 施錠のかかる棚、引き出し等への保管徹底
  - FAX送信取扱い時に複数によるダブルチェック、個人が特定できないようマスキング等の記載工夫
  - 各部署で管理しているUSBの保管状況確認一覧を作成し、管理ナンバーを付けてのデータ内容把握、保管管理場所の徹底
  - ケアプラザ所有携帯電話、PCデータ漏洩防止の為、各自の暗証番号を設定、セキュリティによる管理の徹底
  - 裏紙再利用の際、複数によるダブルチェックの徹底
- ・ 個人情報、プライバシー保護に関する研修を開催しました。
- ・ マイナンバーの取扱いに関しては、施設業務において厳格に対応しました。

#### キ 情報公開への取組について

- ・ 広報紙を6回、ケアプラザ事業予定表を12回発行しました。
- ・ ホームページを活用し、地域の方々が必要としている最新情報、各種事業案内等を公開しました。
- ・ 事業報告、事業計画、各種要綱等は、受付窓口にて閲覧できるようにしています。
- ・ 野庭地域ケアプラザ運営協議会を2回開催し、事業計画、報告、懸案議題、地域ケア会議等の意見交換を行い、運営委員の方々との情報提供・情報共有の場になりました。

#### ク 人権啓発への取組について

- ・ 地域において、日常生活における人権配慮が、態度や行動に現れるような感覚が、十分に身につくようにしていくことが重要であり、ケアプラザ職員も自分自身の課題として人権尊重の理念についての理解を深めるよう努めました。
- ・ 人権尊重の大切さや人権について考えるきっかけとなる内容を盛り込んだ広報紙等を作成し、様々な機会に配布・掲示しました。

#### ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・ 管理標準に則り、環境等への配慮に取り組みました。
  - 適切な冷暖房の使用に心がけ、館内の空調が適正温度となるように努めました。
  - 使用していない部屋の消灯に心がけました。
  - 不使用時の印刷機・パソコン等は電源を落とすよう心がけました。
- ・ フロン排出抑制法に則り、対象機器の適正な使用環境を維持、確保し管理、点検に努めました。
- ・ 建物周辺・野庭中央公園のゴミ回収等を行う「クリーン作戦」を毎日実施しました。
- ・ 植栽の維持管理に関しては、外部業者に委託し定期的に植木の剪定、除草、害虫駆除、施肥等を行い良好な景観保持に努めました。
- ・ 「ヨコハマ3R夢」を推進し、資源ゴミの分別排出を職場内で徹底しています。
- ・ 印刷機のトナー等はリサイクルで対応しました。

## 介護保険事業

### ● 介護予防支援事業

#### 《職員体制》

管理者（保健師等と兼務）	1名
保健師等	1名
社会福祉士	2名
主任ケアマネジャー	1名
ケアマネジャー	1名

#### 《取り組み状況》

- ・ 介護予防支援は、高齢者の特定な機能の改善だけを目指すものではなく、自立した日常生活を営むために、一人ひとりの生きがいや本人の「やりたい」を実現するための目標を総合的に支援することによって、生活の質の向上も目指しました。
- ・ 利用者が「自ら」「主体的に」健康増進や介護予防に取り組むことを目指し、意欲の高まるコミュニケーションを心がけます。また、取り組みに役立つ情報発信にも努めました。
- ・ 社会参加・社会的役割を持つことが生きがいや介護予防につながるという視点を持ち、サービス提供にあたっては、できないことを「補う」だけでなく、活動や参加の状態を把握して、「地域の活動の参加」につながるようバランス良くアプローチしました。
- ・ 介護予防の効果を発揮するために、単に個々に対する支援にとどまらず、地域において介護予防に資する自主的な活動を把握・周知・支援し、介護予防に向けた取り組みが積極的に実施される地域づくりを目指しました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

ケアプラザや地域で介護予防講座を開催するなど介護予防活動に取り組むきっかけ作りに力を入れました。地域の活動グループ（シルバークラブ、地域サロン、自主グループなど）に出向き介護予防情報を伝えると共に、地域の介護予防活動の情報（地域活動情報誌「元気のちかみち のぼのみち」「くじらウォーカー」）を積極的に発信しました。地域の高齢者が生きがいをもって生活が出来るよう地域活動への参加や新たに組み入れる趣味活動の情報等を提供しました。ケアプラン作成時には、介護保険サービスのみならず、地域の様々な資源を取り入れるよう心がけました。

#### 《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
182	183	191	186	181	183
10月	11月	12月	1月	2月	3月
181	180	176	179	183	183

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者（常勤兼務） 1名  
 介護支援専門員（常勤） 3名  
 介護支援専門員（非常勤） 3名

《取り組み状況》

- ・ 各種相談に迅速に対応ができるように事業所内での情報共有や、関係機関との連携を強化しました。
- ・ 医療依存度の高い方、ターミナルケアの受け入れを積極的に行い、適切なプラン作成のための医療知識の習得に努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 地域包括支援センターの受託法人の居宅支援事業所として、地域包括・区役所高齢障害担当ケースワーカーとの連携を密にとりながら、支援困難な事例にも積極的に対応しました。
- ・ 医療機関との連携も強化し、医療依存度の高い方も積極的に受け入れ、ご本人の安楽と、ご家族のメンタル面でのケアにも誠意をもって対応しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
153	153	155	153	156	156
10月	11月	12月	1月	2月	3月
157	161	158	158	163	165

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ・健康チェック、入浴、食事、清潔、排泄ケア 機能訓練、介護者相談
- ・日常生活上の支援

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

	1割負担分	2割負担分
(要介護1)	692円	1383円
(要介護2)	817円	1634円
(要介護3)	947円	1893円
(要介護4)	1077円	2153円
(要介護5)	1206円	2412円

- 食費負担（おやつ含む） 710円
- 有償サービス 紙パンツ120円、紙パット50円

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:30~16:30

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 生活相談員 2名（介護支援専門員）常勤専従1名 常勤兼務1名
- 看護職 5名（看護師）常勤兼務1名 非常勤兼務4名
- 介護職 13名（介護福祉士等）常勤専従1名 常勤兼務1名  
非常勤専従11名
- 機能訓練指導員 5名（看護師）常勤兼務1名 非常勤兼務4名
- 運転手 事務員 8名 非常勤

《取り組み状況》

- ・自立支援に向けて、入浴、食事、趣味娯楽、個別機能訓練などを介護職・専門看護職がプランを作成しサービス提供しました。
- ・ご利用者の意見を尊重し少人数レクリエーション、クラブ活動や趣味活動のプログラム支援を行いました。
- ・利用者事故ゼロを目標に、リスクマネジメントや避難訓練等に取り組みました。
- ・ご利用者が明るく楽しく生き甲斐を持って過ごして頂けるよう工夫しました。
- ・ご利用者のニーズに対応できるよう、常にサービス向上を目指しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ご利用者が在宅生活を継続できるように、個別機能訓練等で可能な動作を最大限に活かし脳の活性化・手先を鍛える・身体を鍛える・身体を癒す等のリハビリに繋がるようプログラムを選択し、楽しんでまた意欲的に行えるような支援に努めました。

《利用実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
973	979	984	992	1001	989
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1023	977	935	911	893	978

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ・ 介護者相談・健康チェック・入浴・食事・清潔・排泄ケア
- ・ 運動器機能訓練：歩行訓練、マット運動・転倒予防運動（各種の用具使用）
- ・ 生活向上グループ活動：集団レクリエーション・創作活動

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

	1割負担分	2割負担分
要支援1	1766円	3531円
要支援2（週1回）	1776円	3531円
要支援2（週2回）	3621円	7241円
● 食費負担（おやつ含む）	710円	
● 有償サービス	紙パンツ120円、紙パット50円	

《事業実施日数》週2日（毎週水、日曜日運動機能向上実施）週7日（生活向上グループ活動実施）

《提供時間》 9：30 ～16：30 但し、途中でも自由に帰宅できます

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
生活相談員	2名（介護支援専門員）常勤専従1名 常勤兼務1名
看護職	5名（看護師）常勤兼務1名 非常勤兼務4名
介護職	13名（介護福祉士等）常勤1名 常勤兼務1名 非常勤専従11名
機能訓練指導員	5名（看護師）常勤兼務1名 非常勤兼務4名
運転手 事務員	8名 非常勤

《取り組み状況》

- ・「本人のできることはできる限り本人が行う」ことが重要であり、運動器機能向上や社会と積極的に接する機会を提供することにより自立支援を促しました。その結果を、評価シートを用いてフィードバックしました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 専門技術を学んだ職員が階段昇降台、ペダルこぎ、平行棒を新たに増やし筋力アップ等の運動器機能向上を図りました。
- ・ 万歩計を使い数字をご自分でカードに記入していただくことで飽きない工夫を凝らし、楽しくできるように配慮しました。
- ・ 在宅生活が継続できるように、脳の活性化、手先を鍛える、身体を鍛える、身体を癒す等のリハビリに繋がるプログラムを行いました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10	9	8	9	8	8
10月	11月	12月	1月	2月	3月
9	9	9	9	8	7

## 地域ケアプラザ

### 1 総合相談（高齢者・子ども・障害分野への対応）

- ① 地域住民や関係機関を対象に出前講座を開催（24 団体 859 名）。ケアプラザが高齢者・障がい・子ども等の幅広い相談窓口であることをPRしました。
- ② 高齢者、子育て支援、障がい関係の自主事業の際にケアプラザが地域住民の為の幅広い相談窓口であることをPRしました。
- ③ 地域行事の参加等の際、ケアプラザ事業紹介の看板を設置、チラシを配布してPRしました。
- ④ 地域の方に関心がある「ひまわりホルダー」や広報紙等を利用し、地域ケアプラザが地域の相談窓口であるということをPRしました。
- ⑤ 10 月から「ひまわりホルダー」を開始。3 月末時点で 197 名の登録があります。登録の際には面接を実施。登録をきっかけに、はじめて地域ケアプラザに来館された方へもケアプラザ、地域包括支援センターが高齢者・障がい・子ども等の幅広い相談窓口であることをPRしました。
- ⑥ 地域活動情報誌は、相談窓口対応で地域資源やインフォーマルサービスをわかりやすく説明する際に活用しています。
- ⑦ 総合相談件数は 1929 件でした。（前年度比 4.5%の 41 件増）

### 2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

- ① ・ 5 職種会議は月 1 回定期的に開催
  - ・ 地域課題、港南ひまわりプランの共有
  - ・ 共催事業の反省、検討、確認
- ② 総合相談票、事業実施記録、各種連絡会実施記録は 5 職種間で回覧し情報共有しました。
- ③ 5 職種協働での事業運営
  - ・ のば元気のちかみちネットワーク（3 回開催）
  - ・ 見守りネットのば（1 回開催）
  - ・ 団暖会ぽかぽかハートネットワーク（5 回開催）
  - ・ 地域ケア会議（3 回開催）
  - ・ のばあんしん登録・ひまわりホルダー（29 年 3 月末 197 名登録）
  - ・ にここ野庭サロン（10 回開催）
  - ・ キャラバンメイト交流会（6 回開催）
  - ・ 野庭ふれあいまつり
  - ・ お餅つき大会
  - ・ 出前講座
  - ・ ボランティア活動の支援
- ④ 見守りネットのば協定事業者に通信を発行（2 回）、連絡会を欠席された方も含めての情報提供、情報共有に努めました。
- ⑤ 地域ケア会議 テーマ「認知症になっても地域で活動したい」  
＜個別支援レベル＞2 回開催 ＜包括レベル＞1 回開催（運営協議会にて）



### 3 職員体制・育成

- ① ケアプラザ人員配置基準に沿った職員配置を確保、法人の所要人員計画に基づいた採用、配置を行いました。
- ② 職員研修の開催は月1回第3金曜日と固定して、職員が参加しやすい工夫をしています。
- ③ かながわ高齢者福祉研究大会に1チーム参加し「家族も驚くデイサービスの取り組み」で優秀賞を受賞。1チームは今年度立ち上げを行い、年度内に施設、法人内で発表しました。
- ④ 安全衛生委員会を月1回開催。労働災害の防止と快適な職場環境について、職員間で情報共有を行っています。
- ⑤ 全職員の接遇チェックを実施しています。所属長がチェックするのではなく、他部署の職員が評価し参考資料にして所長、所属長が把握することで適宜、適切なアドバイス、フォローに努めています
- ⑥ 所内包括会議では、利用者への適正な事業者情報の提供方法について確認・共有しています。
- ⑦ 福利厚生としてのクラブ活動は、職員同士のコミュニケーション、リフレッシュになっています。

### 4 地域福祉のネットワークの構築

#### <地区別地福計画の推進>

- ① 野庭住宅地区
  - ・にじいろさんごプラン推進委員会の開催支援
  - ・地区社協便り第6号の発行支援
  - ・「意見交換会」開催の支援。(6月、11月)
  - ・にじいろさんごプランにおける単会活動の支援
    - ※第1自治会(助け合いボランティア見守り訪問実施支援)
    - ※第2自治会(子どもたちを地域活動に引き付けるプロジェクト支援)
    - ※第6自治会(住民全体で災害に備えようの活動支援)
- ② 野庭団地地区
  - ・いきいき健やかふるさと♥のば推進委員会の開催支援
  - ・「地域支えあいネットワーク会議」の開催支援。(6月、11月、2月開催)
    - ※いきいき健やかふるさと♥のば:自治会ごとに取り組む事柄、課題を抽出
- ③ 永野地区
  - ・くじら計画推進委員会の開催支援。
  - ・「全体会議」開催の支援。(7月、2月開催)
    - ※くじら計画:自治会・町内会ごとにコミットメント
  - ・「居場所作り委員会」の定例会の開催支援

#### <地域福祉ネットワークの構築>

- ④ 見守りネットのば事業では生活支援COも携わり、連絡会では生活支援体制整備事業の説明も行いました。介護保険事業所や民生委員、配食事業者、買物代行業者、新聞配達業者、近隣店舗等が集まることで顔の見える関係が確立しています。
- ⑤ 「のば元気のちかみちネットワーク」を展開し地域の支援者(ボランティア等)や移送支援団体、ケアマネ等が交流、情報提供・共有できる場を作りました。
- ⑥ のばこども食堂はこんぺいとう倶楽部を中心に地域の主任児童委員、食材提供支援者(企業)や中学校等が連携し開催できています。

## 地域活動交流部門

### 1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ① 広報紙を6回/年発行。新規事業、生活支援体制整備事業、通所介護情報、協力医からの医療情報等を掲載しました。
- ② 「野庭地域ケアプラザ便り」を1回/月発行。行事予定、包括による啓発、事業報告等を掲載、ケアプラザ入口等に掲示、配架しました。
- ③ ホームページを1回/月更新し、広報紙や行事予定、各種講座案内等の情報提供を行いました。
- ④ 地域活動情報誌の活用
  - ・ 来館、窓口相談者への情報提供
  - ・ 地区別地福計画の推進
  - ・ 生活支援CO：地域サービス・資源リスト作成
  - ・ 貸し館、ケアプラザ入口等に掲示 等

### 2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ① 貸館利用の積極的PR
  - ・ 貸館利用内容チラシと空き情報をCP入口に掲示
  - ・ 広報紙、HPに貸館の利用案内を掲載
- ② 福祉保健活動団体、貸館登録団体の活躍できる場のコーディネート
  - ・ のぼこども食堂（こんぺいとう倶楽部）
  - ・ ぶらっとランチ（コールまり）
  - ・ 当通所介護事業での発表
  - ・ 野庭ふれあいまつり（誠鳳流、ブルメリア、ベルの会）
  - ・ ハロウィン大会（山の子）
  - ・ 港南なつつこ（ハイビスカス、野庭をあじわう）
  - ・ みちかな芸術家たち（作品展示）
  - ・ 地域の福祉施設へ出前発表（ベルの会、野庭民舞の会、アロウケル同好会）
- ③ 利用しやすい環境づくり
  - ・ 貸館登録団体アンケート内容には、施設を快適に利用できたかの項目を入れ破損等の不具合には迅速に対応しました。
- ④ 定期的、継続的な事業活動の場の提供
  - ・ のぼこども食堂（こんぺいとう倶楽部）
  - ・ ぶらっとランチ
  - ・ ふれあい会（野庭住宅地区保活事業）
  - ・ ひばり会（野庭団地地区社協事業）
  - ・ 元気のちかみち隊
  - ・ てんとうむし
  - ・ のびるの会
  - ・ チャコの会、
  - ・ ベルの会

### 3 自主企画事業

#### ① 高齢者支援事業

- ・にこにこ野庭サロン（包括・生活支援と共催）  
外出支援を目的に開催
- ・うたの広場（4回開催、視覚障がい者もが「ドヘルパ」と参加）

#### ② 障がい者[児]支援事業

- ・港南なつっこの開催支援（8月8日）  
（民生と親御さんの交流の場設定、包括も協力他 CP 会場開催の支援）
- ・港南ふゆっこ開催支援（12月27日、区社協、他 CP コーディネーターとの連携）
- ・地域訓練会の活動内容ポスターや作品を廊下に掲示しました。
- ・こうなん来夢出張販売の支援として場の提供  
（野庭ふれあいまつり、CP エントランス）

#### ③ 子育て、子ども支援事業

- ・のば子ども食堂の立上げ
- ・子育てママ健康美ヨガ
- ・ママと子のおしゃべりサロン（ハロウィン大会では親子と地区センター職員、通所利用者とのふれあいの場も設定）
- ・夏休み子ども余暇支援講座（親子 15名参加）

#### ④ 地域との交流事業

- ・野庭住宅連合夏祭り模擬店出店（8月20日）
- ・野庭ふれあいまつり開催（10月2日）
- ・港南区こどもフェスティバル支援・参加（11月2日）
- ・野庭団地福祉の集い参加（11月6日）
- ・野庭住宅チャリティバザー模擬店出店（12月4日）
- ・お餅つき大会開催（2月12日）

#### ⑤ 出前講座（車イス指導 2回：シルバー、地区社協）

#### ⑥ 地域防災拠点訓練に参加（野庭中学校）

### 4 ボランティアの育成及びコーディネート

#### ① 「団暖会・ぽかぽかハートネットワーク事業」

※包括・生活支援と協働開催で勉強会&交流会（5回開催）

- ・法人の特養介護職による介護教室（杖歩行）
- ・地域病院 PT による座ってできるラジオ体操講座
- ・シニアボランティアポイント登録研修会（35名）
- ・法人の特養 OT による認知症予防体操講座
- ・「なごみのば」見学

#### ② シニアボランティアポイント登録研修会からケアプラザの新規 V0 登録に繋がった。（7名）

#### ③ 自主事業「男性クッキングのば」の皆さまに、野庭ふれあいまつりで模擬店ボランティアをコーディネート。囲碁 V0 にも 1名繋がった。

#### ④ 野庭すずかけ小学校 6年生の依頼で、高齢者理解・車椅子操作の出前講座を実施。

#### ⑤ のば子ども食堂では、野庭中学校の学生 V0 や大学生 V0 を調整し、食する場としてだけでなく子どもたちの居場所にもなっています。

#### ⑥ 地域防災拠点訓練（野庭中学校）に参加し、特別避難場所受け入れ訓練では、中学生が搬送役になり実際訓練を実施しました。

#### ⑦ のば元気のちかみちネットワーク交流会（3回）にて、地域の支援者（ボランティア等）をはじめ関係団体にむけ新しい制度などの情報を発信しました

#### ⑧ ボランティア団体主催講座への協力（野庭キャラバンメイト&元気のちかみち隊主催）

# 地域包括支援センター

## 1 総合相談・支援

### 総合相談

- ① 独居ケース、介護保険では対応できないインフォーマルサービスについての相談をまとめ、地域課題を判断材料とすることができました。
- ② 地域活動情報の他、貸館情報、インフォーマル情報、同行・移送サービスの情報をまとめ、相談時の活用、関係機関、関連団体への周知を行いました。
- ③ 相談内容により、必要に応じて区役所、医療機関など関係機関との連携、連絡調整を速やかにおこなうことで、多問題のあるケース、早急に対応が必要なケースについて、スムーズな連携支援を行うことができました。
- ④ 定期的にカンファレンスを行い、区役所等と情報共有し、注意が必要なケースを早期に情報交換、把握をしたり、統一した方向性で支援ができるよう確認したりするとともに、複合的な問題には、地域関係者へも働きかけて、ケアマネジャー、事業所、施設職員なども交え、それぞれ役割分担し対応するよう努めました。(年12回)
- ⑤ 相談後も継続したフォローを行い、何かあれば気軽に何度も相談できる機関としてきめ細やかな相談対応に努めました。

### 地域包括支援ネットワークの構築

- ① 介護予防プランミニ勉強会に出席したケアマネジャーに、ケアプラン作成に活用できるように、地域活動情報誌、インフォーマル情報等をまとめた資料を配布しました。
- ② 見守りネットのばでは「見守りネットのば通信」を発行しました。
- ③ エリア内の第3期地福計画の推進支援等で、地域支えあいネットワーク会議や意見交換会等の打ち合わせに、地域交流・生活支援コーディネーターと包括職員が出席しました。
- ④ 各自治会、地区民児協・地区社協の協力を得ながら、地域住民に地域包括支援センターの理解が深まるような出前講座を実施しました。(地域サロン、自治会等で合計859名)。

### 実態把握

- ① 来館が難しい方や安否確認の必要がある方については速やかに訪問し、実態把握に努め、関係機関と連絡を取り合い、連携した対応で早期解決に努めました。
- ② 前年度に事業、出前講座等をおこなう際に、アンケートを実施し、地域の方々の心配事、要望、知りたい知識、包括支援センターへ求めていることなど地域のニーズを把握するとともに、効果的な事業、講座へと活かすことのできる情報を集めた結果、地域の方の関心の高い内容の講座を実施することができました。
- ③ 生活に困窮されている方、体調面で緊急対応が必要な方、安否確認が必要な方などの緊急性が高い相談については、区職員と連携を取り、速やかに対応し、その後も支援者同士情報を共有、連携し、継続した対応をすることで、適切な支援につなげることができました。
- ④ 10月よりスタートした「ひまわりホルダー」に、以前より取り組んでいた「のばあんしん登録」の要素を加えたことにより、緊急連絡先の把握だけでなく、安否確認の際に情報が活用できるようにすることができ、地域の方々も安心だという声を多数いただくことができました。

## 2 権利擁護

### 権利擁護

- ① 出前講座、事業の際にインフォメーション、広報誌「野庭の風」にて詐欺被害防止の啓発を行い、地域の方が地域の方へ伝えるための資料として消費生活センターも活用した啓発活動をすることができました。
- ② 成年後見制度に関しては見守りネットワークのば支援者に対してや民生委員、ケアマネジャーへ向け、難しい、よくわからないと声が上がることが多い成年後見制度についてまずは制度の概要を理解していただく講座を実施予定です。
- ③ 成年後見制度に関する相談内容について、後見人がケアマネジャー、家族にとって都合の良い存在かのように捉えているケースが多く、その都度、対象者の権利擁護のための制度であることを説明し、理解を得ることができました。

### 高齢者虐待

- ① 介護者の孤立防止と休息、介護者同士の交流を図ることを目的とし、なごみの会（介護者のつどい）を継続して開催しました。区役所とも連携し、必要なケースは、参加へつなげられるように努めました。今年度は介護が大変になり参加が難しくなってしまった方が多くあり、その方々がどうすれば再び参加できるのかについて現在参加を続けている方が意見を出していただき、今後の活動の参考となる意見交換をする場を設けることができました。
- ② 港南区地域包括支援センター社会福祉士分科会にて以前より活動していた区内ケアマネ連絡会だけでなく、初級ケアマネジメト講座、港南区訪問介護連絡会、区内デイサービス事業所に出前講座という形で高齢者虐待についての講座を実施し、早期発見、報告、連携の大切さの啓発に取り組みました。
- ③ 虐待、又はその疑いがある相談を受けた場合、速やかに区職員へ報告した上で対応し、進捗状況をその都度報告することで、それぞれの役割を確認、連携し、適切に対応できました。
- ④ ケアマネジャーより虐待、又は虐待の疑いのある相談があり、積極的な同行訪問と、相談後も継続的にフォローを行い、ケアマネジャー、家族ともに何かあれば身近な相談場所として包括支援センターがあることを認識していただくことができました。

### 認知症

- ① 野庭エリアキャラバンメイトとの協働事業
  - ・ 認知症サポーター養成講座 3 回開催（延 86 名）  
地域住民、シルバークラブ、野庭すずかけ小 6 年生
  - ・ 野庭ふれあいまつり（認知症普及啓発活動）
- ② キャラバンメイト交流会 6 回開催
  - ・ 認知症の方や家族の方が気軽に参加できる場づくりについて検討。他エリアの認知症カフェ見学。
  - ・ 29 年度よりキャラバンメイト活動を自主活動化し団体登録予定。
- ③ ボランティア団体主催講座への協力  
（野庭キャラバンメイト&元気のちかみち隊主催）  
3 月 13 日「映画上映&サポーター交流会」
- ④ 前年度に引き続き、港南区社会福祉士分科会の中で企画し、若年性介護者のつどいを開催しました。参加者から継続希望の声を多くいただくとともに、継続のための課題にも多く気づくことができました。

- ⑤ 定期開催しているなごみの会（介護者のつどい）は、特に認知症の方の介護者の参加が多く、参加者同士の交流から意見交換、お互いの話を聞くことでリラクゼーションの効果も出ており、話しやすく居心地のよい雰囲気作りができました。（年 10 回）
- ⑥ 地域ケア会議 3 回実施。  
 テーマ「認知症の症状があっても地域の活動をしたい」  
 \* 認知症の方や家族を支えるしくみが必要…行動に移せることから始めよう

### 3 介護予防マネジメント

#### 介護予防ケアマネジメント力

- ① 8 月介護予防支援従事者研修「予防プランミニ勉強会」実施。  
 参加者 23 名（委託事業所 11 事業所参加）  
 内容・・介護予防・日常生活支援総合事業について  
 野庭エリアのインフォーマルサービスについて  
 予防プラン作成について  
 \* 終了時アンケートより経験年数により理解度に差があり、次回開催時の参考となった。
- ② 予防プラン作成委託事業所と毎月の利用者状況報告書を利用し情報共有しました。委託事業所ごとに包括職員担当制にしています。
- ③ 野庭エリアで活用できるインフォーマルサービスの情報冊子を作成し委託事業所等に配布。地域活動情報誌を関係機関に配布、区役所、ケアプラザに配架、貸館等に掲示しました。
- ④ H28 年 10 月より実施事業対象者ケアプラン数 1 件  
 （横浜市訪問型短期予防サービス導入）  
 訪問型生活援助サービス（緩和基準）への移行 3 件  
 \* ケアプラン更新時に検討（直営プラン、委託プラン共に）している。
- ⑤ 元気のちかみちネット「移動支援関係団体交流会（21 団体 29 名参加）」より移動支援に関するインフォーマルサービスの情報シートを作成。介護保険外の移動支援サービス情報を地域に発信しました。

### 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

#### 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ① 元気のちかみちネットワーク交流会にて、地域で活動しているボランティアの方に、平成 27 年介護保険法改正と総合事業についての説明を行った。
- ② ゆるやかな見守りネットワーク構築に向けて、配食事業者等と定期的にミーティングを実施。7 月 21 日に「27 年介護保険法改正～総合事業について、生活支援体制整備事業について」研修を実施。また「見守りネットのば連絡会」では、配食事業者、新聞配達、近隣店舗や民生委員、ケアマネジャーに向けて、6 月 30 日に「第 3 期港南区地域福祉保健計画（港南ひまわりプラン）について」説明を行った。
- ③ 今年度も「ひとり暮らし高齢者見守り事業」は区内全地区で実施。永野地区、野庭住宅地区、野庭団地地区への協力を行いました。

## 医療・介護の連携推進支援

- ① 7月21日にケアプラザ協力医とケアマネジャーとのミニ交流会を実施。ケアマネジャー10名参加。
- ② 10月、エリア内に新規医療機関が開院。地域ケアプラザ、地域包括支援センターの事業案内や地域の現状の説明を行った。
- ③ 地域ケア会議には、在宅医療連携拠点の看護師に参加を依頼。認知症に関する助言をして頂きました。
- ④ 今年度も区内開業医、ケアマネジャー、サービス提供事業者等のネットワーク構築、専門性の向上を目的に、「医福ネット港南」開催。回数を重ねるごとに、参加人数も増えていきます。参加者が連携意識を強く持ってネットワーク構築に取り組むことができきています。
- ⑤ 医療に関する相談を受けた時は、必要に応じ今年度開設された港南区在宅医療相談室を活用しました。

## ケアマネジャー支援

- ① 8月、介護予防支援従事者研修「予防プランミニ勉強会」を実施。  
参加者23名（委託事業所11事業所参加）  
「自立支援」の理念を再確認。エリア内のインフォーマルサービスについて概要を説明したが、もう少し詳しいサービスを知りたいとの声がありました。
- ② 今年度も区内包括主任ケアマネ、区との協働で新任ケアマネ研修を開催。8か所の施設見学を実施。年度後半では、「法令について」「面接への招待」「アセスメント思考プロセス」「サービス担当者会議の開催について」「事例検討」等をテーマに研修を実施。研修終了後は、同期で学びを続けたいとの声が例年と同様上がり、勉強会が立ち上がりました。
- ③ 7月22日にケアマネジメント講座「本人・家族支援の為の面接技法～安心作り安全探しアプローチを用いて～」を実施。（52名参加）
- ④ 区ケアマネ連絡会に出席。事務局会議の内容は区内包括主任ケアマネで共有し、ケアマネ支援を実施しました。（奇数月開催）
- ⑤ ケアマネサロンを2ヶ所のケアプラザで実施。制度等について学ぶだけでなく、サロンを通じて、ケアマネ同士また多職種の交流の場にもなっている。
- ⑥ 元気のちかみちネット「移動支援関係団体交流会（21団体29名参加）」より移動支援に関するインフォーマルサービスの情報シートを作成。介護保険外の移動支援サービス情報を地域に発信しました。
- ⑦ 随時サービス担当者会議開催場所の提供、困難事例の担当者会議の開催支援を行いました。

## 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ① 「認知症の症状があっても、地域の活動をしていきたい」をテーマに、個別事例による地域ケア会議を実施しました。
- ② 包括レベル地域ケア会議では、認知症の方や家族を支えていくために、必要なものは何かを具体的に挙げました。次年度の活動、事業へつなげていく予定です。

## 5 介護予防事業

### 介護予防事業

- ① 介護予防・生活支援ネットワーク「のば元気のちかみちネット」3回開催  
\*生活支援共催  
第1回「地域の通いの場」関係団体交流会  
16団体 29名参加  
第2回「移動支援」関係団体交流会  
21団体 29名参加  
第3回「地域の支え合い活動について」研修会
- ② 10月には「野庭ふれあいまつり」で健康チェックコーナー（InBody検査、スモーカーライザー検査、血管年齢測定）を開催（273名参加）。体育協会、3地区の保健活動推進委員が協力。
- ③ 介護予防講座「元気のちかみち2016（全8回）」を開催（延べ267名が参加）。  
内容：介護予防の必要性、認知症予防、ロコモ・低栄養予防、口腔ケア、フットケア
- ④ 介護予防の出前講座7回開催（延べ258名参加）内容：熱中症予防1回、認知症予防2回、ロコモ予防3回、高血圧合併症予防1回
- ⑤ ボランティア育成講座「団暖会ぽかぽかハートネットワーク（全5回）」を開催。  
内容：勉強会（前半）と交流会（後半）  
※第3回は「よこはまシニアボランティアポイント研修会」新規35名登録
- ⑥ ボランティアグループ（元気のちかみち隊）より研修会企画の相談を受け協力。  
「介護保険制度改正について」1月実施予定。  
グループの定例会に参加し運営を支援しました。
- ⑦ 元気づくりST「のびるの会」の支援を行いました。



## 6 生活支援体制整備事業

平成 28 年 4 月から生活支援コーディネーターを 1 名配置しています。

### 1、ニーズ・資源の把握・分析、資源情報リストの作成

- ① 他職種の把握している情報や地域活動に参加して得た情報を元に野庭地域の生活支援に資するサービス、活動の内容をまとめた「地域サービス・資源リスト」の作成を行いました。
- ② 地域活動に訪問し、活動内容の理解・把握に努めました。
- ③ 「港南区生活支援コーディネーター連絡会」に出席し、区役所や区社協、他ケアプラザとの情報交換を行いました。
- ④ のぼ元気のちかみちネットワーク「交流会」3 回開催。
- ⑤ 野庭地域活動拠点「なごみのぼ」に定期的に訪問し、実行委員や利用者からニーズ等聞き取りを行いました。
- ⑥ ケアプラザ内の受付業務での来館者・利用者との関わりを通し、地域の実状や生活実態、ニーズ把握を行えるように努めました。

### 2、協議体の開催

- ① 協議体として地域の活動主体者を対象に『のぼ元気のちかみちネットワーク』研修会を企画・調整しました。  
《内容》地域づくりに関する講演・グループワーク  
講師：丹 直秀氏（公益財団法人さわやか福祉財団）  
《参加者》野庭町内の福祉ネットワーク、自治会、民生児童委員、ボランティア団体、クリニック、NPO 等関係者等（66 名）
- ② 上記について、適切な企画・実施を行えるよう、区役所や区・区社協等と連絡・調整を行いながら協議体設置の体制作りにも努めました。

### 3、地域支援、取り組み内容

- ① 野庭住宅地区、野庭団地地区、永野地区の支援チームのメンバーとして区役所や区社協と連携し、各地区の実状やニーズについて情報交換・情報発信しました。
- ② 港南ひまわりプランや地区別計画に基づき、区役所や区社協、他ケアプラザと連携・分担し取り組み事項を設定、地域に向けた支援を実施しました。
  - 野庭住宅地区『野庭にじいろさんごプラン』
    - …推進委員会に出席
    - …第 1 自治会「助け合いボランティア」による見守り活動実施の支援
  - 野庭団地地区『いきいき健やかふるさと♥のぼ』
    - …推進委員会、意見交換会に出席
  - 永野地区『くじら計画』…永野全体会議でグループワーク進行・記録

### 4、5 職種の連携、情報発信

- ① 下記事業に関して、包括、地域交流と協働で取り組みました。
  - ・ 団暖会ぽかぽかハートネットワーク
  - ・ 見守りネットのぼ
  - ・ にこにこ野庭サロン
  - ・ のぼ元気のちかみちネットワーク
  - ・ 野庭ふれあいまつり
  - ・ お餅つき大会
- ② 他職種への情報発信や意見交換に努めました。
  - ・ 5 職種会議への出席
  - ・ 相談票の情報共有
  - ・ 会議、研修の相互情報交換
- ③ 広報誌「野庭の風」において生活支援に関する記事を毎号掲載しました。
- ④ 生活支援コーディネーターの取り組みや生活支援の必要性の普及を目的とした港南区版「生活支援コーディネーターパンフレット」の作成チームに加わりました。

# 平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名:野庭地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日  
(単位:千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	13927	28569	151					5789
	介護保険収入				9358	24430	123436	3490	
	その他	1014	132		4403	2068	10012		
	介護予防ケアマネジメント費				4403				
	自主事業参加費	1014	132						
	介護認定調査委託費					1958			
	雑収入費					110	10012		
<b>収入合計(A)</b>	<b>14941</b>	<b>28701</b>	<b>151</b>	<b>13761</b>	<b>26498</b>	<b>136938</b>		<b>5789</b>	
支出	人件費	13328	24476			21853	59859		3222
	事務費	935	1210						
	事業費	1035	188	151		1207	24123		196
	管理費	2789	741			854	6552		
	その他	1599	3036		10669				
	介護予防プラン作成委託費				10669				
	修繕・運営協議会・協力医・その他	533	391						
	消費税	1066							
指定管理料戻入	0	2645						0	
<b>支出合計(B)</b>	<b>19686</b>	<b>29651</b>	<b>151</b>	<b>10669</b>	<b>23914</b>	<b>90534</b>		<b>3418</b>	
<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>-4745</b>	<b>-950</b>	<b>0</b>	<b>3092</b>	<b>2584</b>	<b>46404</b>		<b>2371</b>	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

## 平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
男性クッキングのぼ	男性の高齢者	139,000	20,000	119,000	72,168	66,832	0
	113人						
	1000円						
(指定管理料収入の20000円は区社協補助)							
どれみの森のお友だち さくらんぼ	幼児と親	30,070	4,870	25,200	30,070	0	0
	107人						
	400円						
どれみの森のお友だち ぶどう	幼児と親	66,000	0	66,000	60,140	5,860	0
	240人						
	400円						
のびのびヨガ教室	高齢者	171,092	92	171,000	168,392	2,700	0
	253人						
	500円						
ベーシックヨガ	高齢者	209,879	379	209,500	168,392	41,487	0
	166人						
	500円						
ママと子のおしゃべりサロン	幼児と親	7,594	94	7500	0	7,594	0
	166人						
	無料						
にこにこ野庭サロン	高齢者	21,932	432	21,500	0	21,932	0
	215人						
	100円/回						
港南なつっこ (港南区社協主催)	障害児	29,846	19,846	10,000	0	21,846	8,000
	4人						
	—						
※区社協補助金							
野庭住宅連合自治会 夏祭り	地域住人	62,429	129	62,300	0	62,429	0
	—						
	実費負担						
野庭ふれあいまつり	地域住人	113,145	3,845	109,300	0	113,145	0
	—						
	実費負担						
2016子どもフェスティバル	地域の幼児対象	0	0	0	0	0	0
	—						
	無料						

## 平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
介護予防普及強化事業 元気のちかみち2016 (横浜市委託)	地域住民	0円					
	267名						
	(横浜市よりの委託事業として別枠で151,000円)						
(介護予防生活支援事業連絡会)	関係団体	0円	0	0	0	0	0
のば元気のちかみちネットワーク 研修会	44名						
	0円						
(介護予防生活支援事業連絡会)	地域活動団体	641	0	0	0	0	641
のば元気のちかみちネットワーク 交流会	58名						
	0円						
健康チェックコーナー (のばふれあい祭り)	地域住民	0円					
	273名						
	(横浜市よりの委託事業として別枠で151,000円)						
認知症キャラバンメイト 交流会	地域活動グループ	1,269	0	0	0	0	0
	47名						
	0円						
いつまでも歩ける体づくり講座	地域住民	65,000	0	0	0	914	355
	130名						
	500円						
のば健康講座	地域住民	0円					
	105名						
	(横浜市よりの委託事業として別枠で151,000円)						
見守りネットのば連絡会	関係団体・地域住民	5,268	0	0	0	0	5,268
	73名						
	0円						
出前講座	地域住民	0	0	0	0	0	0
	987名						
	0円						
なごみの会 (介護者のつどい)	介護者など	0	0	0	0	0	0
	42名						
	0円						
転ばぬ先の杖	介護者など	1,800	0	0	0	0	1,800
	66名						
	0円						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市野庭地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
男性クッキングのぼ	男性が一人暮らしになっても安定した食生活を維持できるように支援すると共に、調理をすることでセカンドライフの充実、地域の仲間作りと交流、野庭ふれあいまつりへのボランティア参加を目的として行いました。	平成28年4月から平成29年3月まで全12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
どれみの森のお友だち(ぶどうクラス・さくらんぼクラス)	子育て支援として1歳児・2歳児・3歳児のお子様を育児中の親子を対象にクラス分けし、音楽や・リズム遊びを取り入れ親子のふれあいを密にし、子育てに関する不安や悩みの解消、母子のストレス発散と仲間作り・子育ての情報交換の場として開催しました。	平成28年9月から平成29年3月までの全5回(さくらんぼクラス) 平成28年4月から平成29年2月までの全10回(ぶどうクラス)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
のびのびヨガ教室	高齢化による身体の衰えを過剰な運動ではなく、ゆっくりとした運動による動きを中心とした、ヨガにより心身のストレスを解消するために行いました。	平成28年4月から平成29年3月まで全24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ベーシックヨガ	初心者向けとして、高齢化による身体の衰えを過剰な運動ではなく、ゆっくりとした運動による動きを中心とした、ヨガにより心身のストレスを解消するために実施。また、参加するために外出の機会を創生しました。	平成28年4月から平成29年3月まで全24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママと子のおしゃべりサロン	地域の子育て支援者、保育園等と協力し日頃の子育てに関する悩みや、不安を軽減する仲間作り・憩いの場として開催し、毎回季節感のある行事を実施し親子で楽しんで頂きました。	平成28年4月から平成29年3月まで全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこ野庭サロン	高齢者の外出支援を目的に地域の井戸端会議的な集いを提供する事を目的として開催しました。地域包括支援センター共催。	平成28年4月から平成29年3月まで全10回開催

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
港南なつっこ	港南区社会福祉協議会との協働事業で障がい児余暇活動支援事業の一環として、ケアプラザとして会場の提供を行い夏休み期間中に遊ぶ時間を作り思い出作りをしてもらおうという企画の支援を行いました。	平成28年8月8日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野庭住宅連合自治会夏祭り	野庭中央公園で開催される地域自治会主催の夏祭りに参加し、地域の一員として地域との交流を活発に行うために参加しました。 模擬店の内容は子どもを対象とした「おもちゃ」を販売。	平成28年8月20日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野庭ふれあいまつり	地区センターとの共催による事業で子どもから大人まで、地域住民の方が楽しめるように、模擬店、催し物発表、健康チェックコーナー等を実施しました。	平成28年10月2日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
遊びにおいてよこどもフェスティバル2016	地域の保育園・幼稚園・区役所子育て支援課・港南土木事務所・交通局・消防署・地域自治会・民児協・地区社協等の人的資源が協働し子育て支援として事業を開催しました。	平成28年11月2日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野庭住宅社会福祉協議会福祉チャリティーバザーへの参加	地域福祉事業の一環として、野庭住宅社会福祉協議会主宰の野庭中央公園チャリティーバザーに参加し、地域団体と地域住民との交流を目的とし参加しました。 また売り上げの一部をバザー協賛金としています。	平成28年12月4日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
団暖会 ぽかぽかハートネットワーク	地域ケアプラザとボランティアとの関係をよりよくするために勉強会、交流会を開催し、日頃のボランティア活動に対する問題点や希望・要望について意見を伺い、より一層の関係強化を図ることを目的に行いました。	平成28年6月～平成29年2月に5回開催

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新春お餅搗き大会	地域の一大イベントとしての位置づけから、プラザと地域自治会・地区社協との連携強化を図れる事業の一環となるよう餅つきという伝統行事を通して地域住民との交流の場の提供を行いました。	平成29年2月12日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み子ども講座	夏休みの子ども余暇支援として開催し、親子でトールペイント体験をして頂きました。	平成28年7月23日開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたの広場	地域の仲間作り支援として季節の歌を中心に童謡や愛唱歌を歌い楽しんでいただくことを目的に開催します。	平成28年5月～平成29年3月まで4回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てのママの健康美ヨガ	子育てのママ自身のリフレッシュ・健康保持の目的で開催しました。	平成28年10月～平成29年2月までに4回開催予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
のぼこども食堂	子どもの孤食や居場所作りの支援、地域交流の場として開催しました。	平成28年7月から平成29年3月まで14回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みぢかな芸術家たち	地域のみぢかな芸術家を発掘し、その作品を展示し地域の方たちに観て頂き、文化交流の場を提供することを目的として、ケアプラザ廊下に展示しました。	平成28年4月から平成29年3月まで

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市野庭地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
のば元気のちかみちネットワーク研修会	野庭地域の実情に合わせた多様で柔軟な生活支援のある地域づくり・その活動の活性化を目的としました。各関係機関、団体を協議体としてとらえ研修会を開催しました。	平成28年12月 1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
のば元気のちかみちネットワーク交流会	野庭地域の実情に合わせた多様で柔軟な生活支援のある地域づくり、また介護予防・生活支援活動の活性化と各関係機関、団体のネットワークづくりを目的とし開催しました。	平成28年7・10月 2回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康チェックコーナー (野庭ふれあいまつり)	ケアプラザ・地区センターの合同まつり（ふれあいまつり）で介護予防普及啓発活動として健康チェックコーナーを設け、体組成検査（inbody）を行います。検査の結果をもとに横浜市体育協会講師に日常生活のアドバイスをしてもらい日常生活を振り返りを行いました。	平成28年10月 1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(介護予防普及強化事業) 元気のちかみち2016 (横浜市委託)	高齢者が住み慣れた身近な地域で介護予防を意識し、介護予防の具体的な取り組みを始めるきっかけとなる機会を提供し、日常生活の中で身体状況に応じた介護予防活動を実践する高齢者がふえることを目指し開催しました。	平成28年5月～6月 まで 全8回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いつまでも歩ける体づくり講座	介護要因の第2位を占めるロコモティブシンドロームを予防することを目的として開催しました。関節痛予防改善体操を中心に実施しました。	平成28年6・10月 平成29年1月 3回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
のば健康講座	いつまでも住み慣れた地域で活動的に暮らすことができるよう、健康作りに役立つ情報を提供すること、また、活動的に生活するきっかけ作りとなることを目的とし開催しました。	平成29年1・2月 2回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
団暖会 ぽかぽかハートネットワーク	地域の中で福祉保険活動を推進していく担い手、原動力となるボランティアの育成支援を目的に開催しました。ボランティア活動を行う上で役立つ情報や活動を継続していくためのお仲間づくりの場を提供しました。（勉強会+交流会）*地域交流共催	全5回開催 （平成28年6・8・10・12月 平成29年2月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なごみの会 (介護者のつどい)	認知症の家族の介護をされている方、ご自身やご家族の介護についてご関心のある方、介護経験のある方などを対象に、他の方と話し合ったり、介護に役立つ勉強会をしたりしながら、気持ちを「なごやか」することを目的として実施しました。	10回開催 毎月第2木曜日 (8月・1月は休み)



# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座	介護保険制度、認知症予防、介護予防、悪質商法や成年後見制度などの普及啓発を目的とした出前講座を随時実施しました（認知症サポーター養成講座含）。	平成28年4月～平成29年3月 25回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
転ばぬ先の杖	介護の場面に直面したとき、介護する方、介護される方が共に安心して生活がおくり、安心して住み慣れた地域で最後まで暮らしていただけるために、介護に役に立つ情報や基礎知識が得られる講座を開催しました。	平成28年5月～平成29年2月 2回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
見守りネットのば 連絡会	地域の高齢者の生活の支援、また緊急時における体制を確立するために、地域包括支援センターと配達事業者とで、安否確認のネットワークを構築していくために連絡会を開催しました。	平成28年6・11月 2回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
配達事業者 ミーティング	高齢者の安否確認ネットワーク構築のために、より具体的に動くことができるよう、ツールや見守り活動の情報交換の場として実施しました。	月 1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
民生委員とケアマネジャーとの連絡会	地域のネットワーク構築の一環として、ケアマネジャーと民生委員との関係作りを目的に情報交換会を実施しました。	平成29年2月 1回開催